



2016年6月23日発行 会報第842号

今週のプログラム

(2016年6月23日 第842回例会)

卓話「月山(富田城)の話—パートII」

担当 西本 明文会員

次週のプログラム

(2016年6月30日 第843回例会)

最終例会

松田会長・山本(友)幹事ご挨拶

優良出席表彰 西本出席担当

第841回例会 (2016年6月 9日)の記録

<会長の時間>

松田親男

IM再編成

5月20日の金曜日に、IM2組の新旧会長幹事会が開催されました。立野ガバナーも出席されて、IMの組替えのことについてお話しされました。

IMの組替えを行うことは、立野ガバナー年度が始まった頃から、お話しされていましたが、その当時、私は、IM2組がバラバラになるような改正案には絶対反対という立場でした。結論から言いますと、そのような事態は回避できそうです。

まず、立野ガバナーの説明をご紹介します。現在、IM1組から8組までの各組の組数や各組の総人数は、大きなバラツキがあります。クラブ数でいうと、最小は1組の7クラブ、最大は5組の12クラブ。各組人数の最小は1組の224名、最大は6組721人。これを均等化する事が必要とのことでした。また、ロータリーデーのホストクラブ、ガバナー補佐の選任などは、現在、クラブの持ち回りで行われていますが、クラブ数の少ない組は早く回ってきます。再編することにより、担当するまでの期間が均等化するという理由です。

再編成の基本的構想は、郡部のクラブ(1組~4組)は今までどおりの構成とし、IM6組を中心に5組や7組のクラブを、適宜他の組に振り分けて、均等化を図るという方法をとっています。再編成の結果、現在のIM8組から6組に減るそうです。

我々の2組は郡部のクラブですので、現在の12クラブはそのまま残るのですが、別に3クラブが加わるという案が出ています。加わるクラブは、大阪東淀ちゃやまちRC、大阪淀川RC、新大阪RCです。大阪東淀ちゃやまちRCは現在IM6組、会員数約29人、大阪淀川RCは現在IM6組、会員数約27人、新大阪RCはIM6組、会員数約31人です。この案ですとIM2組は15クラブ合計約511人程度の組になります。

このような再編成計画について、皆さんはいかがお考えでしょうか。

<お客様>本日のお客様はおられません

<出席報告> 西本明文出席担当

会員数（内出席免除会員 4 名）	23 名
本日の出席者数	16 名
（内出席免除会員 1 名）（内名誉会員 0 名）	
本日の出席率	80.00%
5 月 26 日の修正出席率	100%
5 月のホームクラブ出席率	87.10%
5 月の平均出席率	90.32%

<ロータリーソング> 全会員

♪それだからこそロータリー♪

<ピアノ演奏> 近藤美里さん

- 1 The Rainbow Connection
- 2 酒と薔薇の日々
- 3 アメリカ物語

<幹事報告>

山本友亮幹事

- 1 東京麹町ロータリークラブよりエンドポリオに尽力されたお二人の会員を偲ぶ冊子「思い出草」が送付されました。
- 2 本日例会終了後、「うぐいすの間」におきまして新旧合同理事会を開催します。
新旧理事・役員の皆さまはご出席ください。
- 3 次週 6 月 16 日（木）は定款により休会となります。
- 4 次々週の 6 月 23 日（木）にファインセッションを行います。

<委員会報告>

なし

「職業奉仕フォーラムその2」

職業奉仕委員長 小山富夫

2016年1月28日の職業奉仕フォーラムに引き続き本年度第2回目の職業奉仕フォーラムが開催されました。初めに委員長から職業奉仕の基本“四つのテスト”のうちの1 真実かどうか、2 みんなに公平か について、身近な例を紹介することから議論を盛り上げたいとの提案がありました。

先日のことですが、交通取り締まりの警察官に信号無視で止められた時の話です。片側2車線の道路で2台の車が同時に（追突事故防止のため）黄色信号で停止線を通過しました。しかし内1台だけが赤信号で停止線を通過したとして停車を求められました。運転者は当然抗議しましたが聞き入れられませんでした。赤信号で通過したという証拠がない（真実かどうか）、止めやすい方の車だけ止めた（みんなに公平か）等の話が出て、この場合、運転者と警察官はどのような態度でことに臨むべきか議論されました。これをきっかけに会員からの発言が続きました。

A会員の話：認知症気味の95歳の高齢患者の症例です。家族の希望もあり、自宅で自然死を迎えることになりましたが、医師として最後まで積極的に延命治療をするべきだったか、患者本人の意思表示がなされない中、難しい選択を迫られました。これまでも、患者本人にとっても社会的に考えてももっとも良いと思われる方策を選択してきたつもりです。

B会員の話：20年位前までは外科医は辛い立場に立たされていました。執刀し、治療不可と分かったとき患部の処置をしないでそのまま縫合しますが、本人に直接、例えば末期がんで手術不能でしたとは告知しにくく真実を話せない場合が多かったのです。患者本人は手術までしたのだから治るものと信じていますので、頑張って治しましょうと元気づけるほかなかったのです。現在は事前にも事後にもすべて真実を告知しますので気分的には非常に楽になりました。

C会員の話：弁護士は、引き受けた限りは常に依頼者側に立って論陣を張らなければならないという責務があります。この責務がロータリーの四つのテストの「真実か どうか」、「みんなに公平か」に優先する場合があります。職業上、依頼者に不利になるような場合、みんなに公平にすることは出来ない相談だということになる場合があります。

D会員の話：塩化リゾチームという歯科や皮膚科で長期間使用されてきた薬が最近になって使用中止になりました。理由は薬効が無いすなわちプラセボ効果を超えない可能性があるとの疑念を持たれたからであります。臨床医が治療にあたる場合、有効性があまり感じられない薬であっても病気が治り患者から感謝してもらえればそれが真実であったと初めて実感するのであります。

E会員の話：今まで四つのテストを念頭に置いて事業を行ってきたことはまずありません。欲に駆られて日々の業務をこなしているというのが偽らざる現状であります。

その他各会員から自分の職業を通じての四つのテストに関連したいろいろな事例が報告されましたが紙面の都合で割愛させていただきます。

三菱自工や前都知事の問題に端的に表れているように、伝統ある巨大な会社組織であっても、個人であっても、ロータリークラブの四つのテストで代表される崇高な倫理観をもって自分の職業を実践することはなかなか困難なことであることは確かです。しかしロータリアンとしては自分自身の職業に対して高い倫理基準を保ち、職業奉仕を誠実に行うことにより、最も恩恵を被るのはロータリアン自身であるとの信念の元、日々を過ごしていかなければならないと考えさせられた例会でした。

<SAA報告> 藤田芳浩SAA

*スマイルボックス

黒川会員 大雨で大変
コメント無 西本会員

*ロータリー財団

藤田会員 本日のファインセッション皆様ご協力願います
黒川会員 もうすぐです
相原会員 岡部会員と会いました。皆さまによろしくとのことです。
コメント無

*米山記念奨学会

松田会長 小山さん2回目御苦労さま、私はあと2回で終わり
山田会員 岡部さんが皆様によろしくとのことでした
黒川会員 今日は淡路島でした
木下健治会員 来週はMDRT世界大会でバンクーバーです
相原会員 岡部会員お元気です
コメント無 小山会員・山本雅之会員

*ラオス基金

黒川会員 ラオスも雨？
藤田会員 山本加奈子様とラオスのお話をと思います
水本会員 ラオスの子供たちに会いたいな！
コメント無 西本会員・山下会員

*メイプル基金

藤田会員 小山委員長フォーラムよろしくお願いいいたします
水島会員 小山会員本日よろしくお願ひします
山本友亮会員 小山委員長 続きよろしくお願ひします
黒川会員 木下健ちゃん今日はありがとう
西本会員 梅雨に入りまして
村田会員 久しぶりに卓話を聞かせていただきます 小山会員楽しみです
木下健治会員 柳原先生の会員推薦カードをもらってきました お元気でした
コメント無 山下会員

*ファインセッション 14,600円

<編集後記・追加情報・ ちょっと一言・ライブラリー・etc>

(担当 小山)

